



金山の労働者諸君
 彼が鳥尾の時代錯誤の断末魔の悲鳴を聞き
 就鳥尾の労働課長日最後の悲鳴を上げて自己の非を覆はん
 並べて見たいモカキ旅りを示して居る

彼が一般組合員に發したる警告文を見れば彼が少しも労働者に
 對して親切な所があるか労働者の生活改善に對して如何に不親切不注
 意であるかを物語つてあるに過ぎない

一 彼が鳥尾は今回の断末魔は不慮であると言ふ田舎にて此西女求は我々労働階級の改善に
 及するものなりや 吾等は労働者の生活改善である限り尚又他の金山に於て既に實
 行してあるものを天下無難の宿願を任友に實施を要求するは當然である確信あり 彼等の
 不當と言ふ言葉は一般に我々を欺瞞せんとする詭辯であるを看破せざるを得ない
 二 鳥尾なる彼が鳥尾は組合員を如何に愚弄し如何に罵倒し如何に侮辱し如何に欺
 しの行動は合法的手段と出でたに及ばば被虐待の行動を實に國家社會の秩序と平和を攪亂
 してあるではないか

三 彼は吾々組合員に警告文を發したるに不慮世間の如く鳥尾は為に坑内に於て突然の負傷者に對
 し組合員はそれを見救はんとした如く欺瞞す此共事である現に改善會最高
 幹部山中取締役其は自己の相手労働者を罵り坑内奥深くおき去りして立ち歸りた
 るを吾々組合員は之を敢て老練を冒して莫急懲罰を敢て出した事實なり 然し彼が鳥尾は
 岸に無事手は傷の研る間に吾々組合員は之を度して一度は不吉にして負傷しし者に對
 しては恰も手のこころをかへす如く會社の為なりと慰安の言葉に更へて傷處なる悪
 罵を以てこれと廻る此深怨なる冷血漢鳥尾の態度と果して何れが正義なりや

彼は最早血迷ひて最後のモカキに自己の非を覆はんといゆる虚構の事
 實を捏造して焦燥する反面組合員の運動方針の展開に依つて大夜に於ける
 住友四工場労働者一同が同情罷業をせんとするに當り自己の不徳と最
 後の運命に近きつあるを知り改善會の席上に於いて自今最早立つて七厘つて

も居られたいと今の際の悲鳴を響かして居るではないか
 愈々吾々労働階級の戦勝の黎明を授けた
 金山の労働者諸君よ今一息を最後まで勇気敢て戦えよ

大正十四年三月二十七日

別子 鉾山 争議團
 日本鉱業組合別子鉾山支部